

November 24, 2021

【前日の為替概況】ドル円、米 10 年債利回り 1.68%台で 115.19 円まで続伸

23日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続伸。終値は115.14円と前営業日NY終値(114.88円)と比べて26銭程度のドル高水準となった。日本時間夕刻に米中関係悪化を警戒して一時114.49円まで売られたあとはじり高の展開となった。前日にバイデン米大統領がパウエル米連邦準備理事会(FRB)議長を再任する方針を発表したことを受けて、米金融緩和の縮小が進むとの見方から円売り・ドル買いが進行。米長期金利の指標である米10年債利回りが約1カ月ぶりに1.68%台まで上昇したことも相場の支援材料となり、一時115.19円と2017年3月以来約4年8カ月ぶりの高値を更新した。

ユーロドルは3営業日ぶりに反発。終値は1.1248ドルと前営業日NY終値(1.1237ドル)と比べて0.0011ドル程度のユーロ高水準だった。ただ、明日に米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(11月2-3日分)などの重要指標を控えているうえ、25日の感謝祭の祝日を前に1.12ドル台半ばで大きな方向感が出なかった。

ユーロ円は続伸。終値は129.51円と前営業日NY終値(129.08円)と比べて43銭程度のユーロ高水準。米株式市場でダウ平均やS&P500種株価指数が上昇すると円売り・ユーロ買いがじわりと強まり、1時30分過ぎに一時129.60円と日通し高値を更新した。ドル円の持ち直しにつれた買いも入った。

産油国通貨は堅調だった。WTI原油先物価格の上昇を背景に、カナダドルやノルウェークローネに買いが入った。カナダドルは対米ドルで1.2660カナダドル、対円では90.95円と日通し高値を付けた。ノルウェークローネは対ユーロで10.0063クローネ、対円では12.94円まで値を上げた。

米ホワイトハウスはこの日、石油価格の抑制に向け、戦略石油備蓄から5000万バレル放出すると表明。中国やインド、日本なども協調して国家備蓄を放出すると伝わった。ただ、この報道後に原油価格は上昇に転じ買い圧力は徐々に強まった。石油輸出国機構(OPEC)加盟国など主要産油国が増産計画を見直すとの見方が根強いことや、「石油備蓄放出による需給緩和への効果は限られる」との観測が買いを後押しした。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米長期金利と原油価格の上昇で続伸か

本日の東京外国為替市場のドル円は、米10年債利回りと原油価格が上昇していることで続伸が予想される。しかし、ニューヨーク市場が明日25日は米感謝祭で休場、26日はブラックフライデーのため閑散取引となることで、上値は限定的か。

バイデン米政権が主導した協調的な戦略石油備蓄(SPR)の放出規模が予想を下回る規模だったことで、NY原油先物1月限は78.50ドルで引けている。原油価格の上昇観測を受けて、インフレ高進が「一時的(transitory)」ではなく、「持続的」となる可能性も、ドル買い・円売り要因となっている。

バイデン米大統領がパウエルFRB議長の続投を決定し、ブレイナードFRB理事を次期FRB副議長に指名し、両者が「インフレとの戦いが最優先事項」と表明したことで、米10年債利回りは1.68%台まで上昇し、ドルは全面高の展開となりつつある。ドル円の高値の目処としては、購買力平価からの乖離幅22%で算出できる。1985年のプラザ合意前の240円台が購買力平価から約22%高、2015年6月の125.86円の時も約22%高だったことで、現状の上値目処は、2016年のトランプ米大統領誕生後の高値118円台となる。

また、実質実効為替レートでは、2015年6月の黒田日銀総裁の発言「ここからさらに実質実効為替レートが円安に振れていくことは普通に考えると、なかなかありそうにない」の時が67.63だった。10月時点では68.71まで低下して、円安値圏でほぼ面合わせし、史上最安値圏を目指している。

本日のドル円のオーダー状況は、115.00円の25日と30日のNYカットオプションを軸にして、上値には、115.20円にドル売りオーダー、115.25円に29日のNYカットオプション、115.30円と115.50円にもドル売りオーダーが控えている。下値には、114.40円にドル買いオーダーが控えている。

本日、ニュージーランド準備銀行(RBNZ)が政策金利を0.75%に引き上げることが予想されており、声明での追加利上げへの言及に要注目となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 09:00 ◎ 7-9 月期シンガポール国内総生産 (GDP) 確定値 (予想: 前期比 0.8%)
- 10:00 ☆ ニュージーランド準備銀行 (RBNZ)、政策金利発表 (予想: 0.75%に引き上げ)
- 16:45 ◇ 11 月仏企業景況感指数 (予想: 112)
- 18:00 ◎ 11 月独 Ifo 企業景況感指数 (予想: 96.6)
- 19:00 ◇ 10-12 月期南アフリカ経済研究所 (BER) 企業信頼感指数
- 19:10 ◎ パネッタ欧州中央銀行 (ECB) 専務理事、講演
- 21:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 22:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数 (予想: 26.0 万件/203.3 万人)
- 22:30 ◇ 10 月米卸売在庫 (予想: 前月比 1.0%)
- 22:30 ☆ 7-9 月期米 GDP 改定値 (予想: 前期比年率 2.2%)
 - ◎ 個人消費 (改定値、予想: 前期比 1.6%)
 - ◎ コア PCE (改定値、予想: 前期比 4.5%)
- 22:30 ◎ 10 月米耐久財受注額 (予想: 前月比 0.2%/輸送用機器を除く前月比 0.5%)
- 23:30 ◎ テンレイロ英中銀金融政策委員会 (MPC) 委員、講演
- 24:00 ◎ 10 月米個人消費支出 (PCE、予想: 前月比 1.0%)
 - ◎ 10 月米個人所得 (予想: 前月比 0.2%)
 - ☆ 10 月米 PCE デフレーター (予想: 前年比 5.1%)
 - ☆ 10 月米 PCE コアデフレーター (予想: 前月比 0.4%/前年比 4.1%)
- 24:00 ◎ 11 月米消費者態度指数 (ミシガン大調べ、確報値、予想: 66.9)
- 24:00 ☆ 10 月米新築住宅販売件数 (予想: 前月比横ばい/80.0 万件)
- 25 日 00:30 ◇ EIA 週間在庫統計
- 25 日 01:00 ◎ シュナーベル ECB 専務理事、講演
- 25 日 04:00 ☆ 米連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事要旨 (11 月 2 日-3 日分)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

23日 15:21 米格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス
「バイデン米大統領の新たな施策(Build Back Better)はインフレの影響をほとんど受けずに成長を後押し」
「長期的な持続可能な成長を促進」

23日 15:50 独保健相
「ロックダウンを含む措置を除外することはできない」
「一部の州での新型コロナウイルス感染状況は、非常に非常に厳しい」

23日 16:23 中国軍
「米海軍の駆逐艦ミリウスは台湾海峡を通過し、安全保障上の危険をもたらした」
「我々は主権を保護するだけでなく、脅威や挑発を撃退するために必要なすべての措置を講じる」

23日 16:36 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理事
「インフレのリスクは上方向に傾いている」

23日 18:08 クノット・オランダ中銀総裁
「ユーロ圏の価格上昇は第4四半期にピークに達するだろう」
「ロックダウンに関しては多くの不確実性がある」

23日 21:12 ハスケル英中銀金融政策委員会(MPC)委員
「金利の道筋は上向き」
「英国の生産性については楽観的」
「経済の回復と労働市場の強さの両方を確認できる明確な証拠が必要」

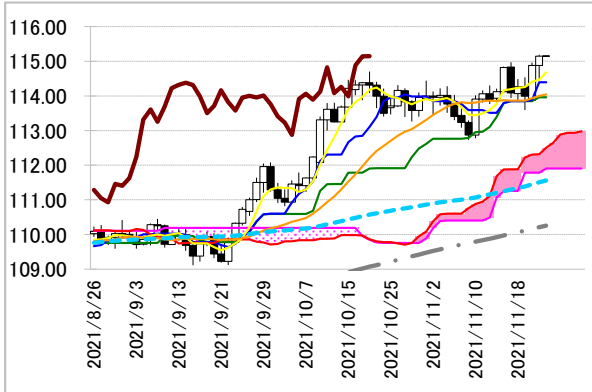
23日 23:53 トルコ中銀
「極端なボラティリティの時にのみ介入可能」
「為替レートの水準についてコメントせず」

24日 00:23 ベイリー英中銀(BOE)総裁
「我々は現在、仮想通貨の直接的な金融安定性に関する問題を認識していないものの、潜在的な脅威は存在する」

24日 04:33 バイデン米大統領
「ガソリン価格抑制のために必要な措置を取る」
「石油会社が卸売価格と小売価格の差を得ていることを容認せず」
「中国は一段の石油備蓄放出が可能」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

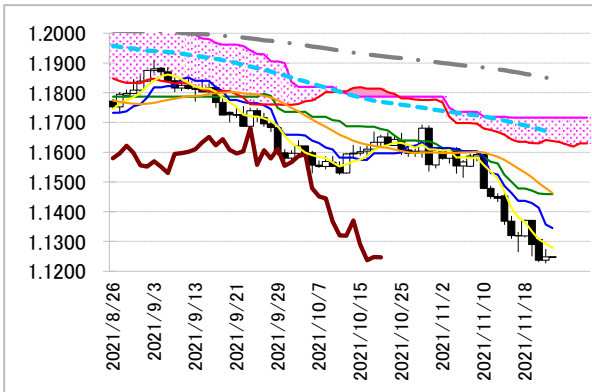


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2手連続陽線で上昇し、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	116.87(2017/1/11 高値)
レジスタンス 1	115.51(2017/3/10 高値)
前日終値	115.14
サポート 1	114.39(日足一目均衡表・転換線)
サポート 2	113.96(日足一目均衡表・基準線)

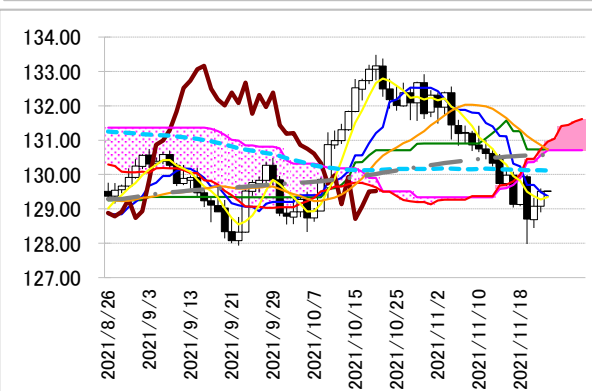


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。孕み線で反発しているものの、転換線を下回って引けていることで反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1345(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1248
サポート 1	1.1185(2020/7/1 安値)

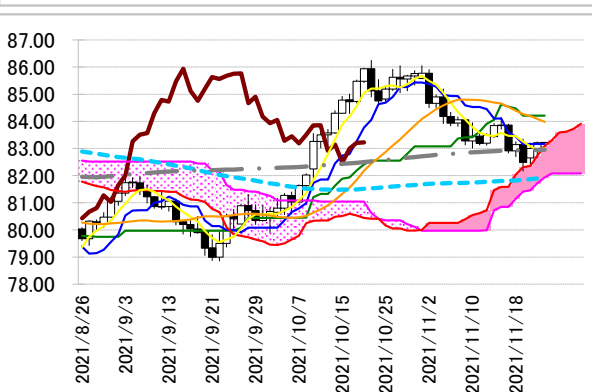


<ユーロ円＝11/22 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、2手連続陽線で反発して、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、11月22日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	130.73(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	129.51
サポート 1	128.45(11/22 安値)



<豪ドル円＝11/19 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の上で引けているものの、売りシグナルが優勢な展開。しかし、2手連続陽線で反発して、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、11月19日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	84.21(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	83.21
サポート 1	82.16(11/19 安値)

